

ハイスピードコーポレーション株式会社

施工品質への同時3重チェック導入と付随業務自動化

報告書を含む施工品質の確保を第一と考え、業界でも珍しい品質の3重チェックをするなど品質管理業務に多くの時間を割いている。この業務をリアルタイム化・自動化へとプロセス改善し、飛躍的に市場競争力を向上させる。

事業取組の経緯

会社名の由来にもなっている独自開発した地盤改良工法『ハイスピード工法』は、材料に天然碎石のみを使用した工法であるため、人・環境に優しい地盤改良として、全国的に認知度・評価も高まっている。住宅地盤改良事業を手掛ける事業者の大半はその運営上、元請企業からの受注に依存せざるを得ず、元請企業から求められる施工品質・工事期間・工事価格に対し、協力していかねばならない状況にある。一方、法律の施行や改正によって、災害対策や安全性の向上へと方針が進んでおり、施工のみならず書類作成などに要する負担も増している。

実施内容

①代理店現場施工工程に、独自開発アプリを搭載したタブレットを記録用の端末として導入する、②本部事務所で有している保存機能のあるサーバーに、施工データチェック基本部分（イレギュラー数値の拾い出し作業）と工事報告書作成を自動に行える独自開発の計算機能を搭載する、③タブレット内アプリとサーバーを直接接続、サーバーとPCをWebネットワーク接続することによって、業界でも例のない革新的な三重チェックのリアルタイム化を実現した。

これまで、住宅地盤改良業界への新規参入業者であるが故にコストを掛けて、一般的にある品質管理手法を三重に行って、社会的信用を得てきた。今回の業務プロセスの改善により、従来からの品質管理を維持・向上させつつ、元請企業に対する工事提供価格を段階的に引き下げ、住宅地盤改良業界での大幅シェア拡大と住宅建設会社や設計事務所の経営安定化に貢献する。

事業取組の成果

市販のタブレット端末に搭載し施工現場で運用可能な施工報告書アプリの開発を行い、①代理店事務所工程

での施工データの取込み・入力作業を廃止、②施工データチェックの基本部分と報告書作成の作業を廃止、③常時接続の状態を維持し、施工データチェック基本部分・施工データチェック全体部分（基本部分でのイレギュラー発生内容の確認、写真画像記録の確認、全データのバランス検証）・工事報告書作成に要する業務時間の大幅な短縮が可能となった。

また、施工データチェックと工事報告書作成業務を代理店現場施工工程の進行と同時に進められることから、全工程を数日で処理することが可能であることを確認した。

これにより、管理・付随業務に係るコストの低廉化を図り、価格競争力を向上することができた。

今後の活動予定

今後は、実運用で出てくる現場作業員からの意見、要望等を取り上げ、アプリの機能性向上のためのバージョンアップを行う予定である。

地盤改良工事報告書のデータ偽造が社会問題となり信頼を失った住宅地盤改良業界で、確実な品質管理を継続し、市場に提供していくことによって、業界への不信感を払拭する取り組みの一役を担う。

また、社員を継続的に採用し、地域社会の雇用創出へ寄与するとともに安定した事業運営を行い、社会的信用を得る。



施工品質・精度向上のために
自社開発のタブレットアプリを使用中

ハイスピードコーポレーション株式会社

■代表者／代表取締役 堀田 誠

■本社住所／〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台 921 番地 1

■TEL／089-989-0093

■FAX／089-989-0063

■URL／<http://www.hyspeed.co.jp/>

■メール（代表）／info@hyspeed.co.jp

■設立年月／2008 年 8 月 1 日

■資本金額／3000 万円

■従業員数／74 人

■業種／建設業（職別工事業）

■事業拠点／本社 愛媛県松山市久万ノ台 921 番地 1 / 高知 高知県高知市南金田 7-15 / 徳島 徳島県板野郡藍住町富吉字豊吉 47-17 / 広島 広島県広島市安芸区矢野西 4 丁目 21-14



「ハイスピード工法」施工風景

企業概要

人、環境にやさしい地盤改良工法で「日本の地盤を強くする。」をスローガンとして平成 20 年に設立した。主たる事業として、地盤調査業およびその土地が軟弱地盤だった際に建物の安定性を保つため、地盤に人工的な改良を加える地盤改良工事を営んでいる。地盤改良工法であるハイスピード工法は自社開発の工法であり、当社が工法技術本部として、全国に 141 社の施工代理店を設けて展開している。

主要取引先

ハイアス・アンド・カンパニー

主要商品（成果品）

	地盤改良「ハイスピード工法」 天然砕石のみを使用した環境にやさしく、砕石パイルの排水効果で地震の揺れによる液状化を抑制できるメリットがあり、液状化対策工法としても注目され日本各地で多数採用されている。 会社設立時から 2020 年 12 月時点において、全国 74,000 棟の施工実績
	地盤調査 戸建て住宅の地盤調査で一般的なスクリーウエイト貫入試験方法（旧 スウェーデン式サウンディング試験）をはじめ、大規模建築物に適したボーリング調査、地盤調査の精度を上げるために自社開発の S・S・J サンプラーを用いた高度な土質判定も可能である。 ＜対応可能な調査方法＞ ・スクリーウエイト貫入試験方法 ・スクリードライバーサウンディング試験 ・ラムサウンディング試験 ・ボーリング調査（標準貫入試験） ・SIMPLE SOIL JUDGE サンプラー試験
	建物の地震対策「摩擦減震パッキン UFO-E」 地震エネルギーを小さくする“摩擦減震”により木造家屋の倒壊を防ぐ建築金物。基礎パッキンの代わりに採用するだけで、800gal の大型地震の揺れを 300～400gal にまで減震させる。

主要設備

重機

担当者	執行役員 情報システム部部长 塩崎 眞士
連絡先	089-989-0093
連絡先 E-mail	shiozaki@hyspeed.co.jp